

	令和4年6月17日(金) 19時00分～21時20分							
会場	ハイブリット開催・会場は市民プラザあくろす2階はばたき、オンライン(ZOOM)参加もあり							
運営委員	会場	壽賀 一仁	会場	村上 むつ子	会場	嶋田 浩一	会場	平澤 和哉
	会場	児島 秀樹	会場	横山 真理	会場	水田 征吾	会場	原島 秀一
	欠席	長浜 洋二	欠席	佐々木 真紀	オンライン	梶井 文子	会場	熊谷 紀良
	会場	萩原 治	会場	高木 直				
事務局	池田、成田							

1 はじめに

- ・各委員より一言

《報告事項》 19:10～20:40

2 えんがわファンド選考結果について

資料2

【委員長】レジメ上は協議事項となっているが、遅参委員があるため、先に報告事項から始めたい。レジメ3番のえんがわファンド選考結果について事務局から報告いただきたい。

【事務局】5月23日(月)に選考委員会がありました。6番目生きづらわーほりプロジェクトさんだけは、連絡の行き違いで、再選考にはなったが、別日の5月30日(月)には再選考し、申請団体の6団体すべての選考が終了した。結果として、申請いただいた6団体すべてが助成決定となった。今回すべての団体が初助成の団体となる。詳細は資料をご覧ください。

【委員長】えんがわファンド交流会など、再開をしていく中で交流が出来るとうい。

3 各グループの進捗について

資料3

- ・えんがわ文庫(資料なし)

【事務局】棚主交流会を始めた。これまで計4回開催しており、棚主同士で自分の棚から好きな本を1冊選んで、紹介し合うという内容の交流会を行っている。1回あたり4～5名の参加があり、大変盛り上がっている。色々な話が出来て楽しいという声ばかりなので、継続していきたい。交流会の中からイベント企画も出てきた。6月中に2つのイベント開催を予定している。6月25日(土)「英語絵本の読み聞かせ」6月27日(月)は「絵本の読み聞かせ」。棚主企画のイベントで地域交流の輪を拡げていきたい。明日(6月18日)は月1回の棚主懇談会を開催予定。10名程の参加予定になっている。7月には本棚のシャッフルを予定しているので、来月の運営委員会の頃までにはえんがわの文庫の見栄えが変わっているのが楽しみにしてほしい。

- ・おはなしほっとカフェ(資料なし)

【事務局】6月13日(月)におはなしほっとカフェを開催した。2組の参加で楽しんでいただいた。参加者の中から、うれしいことに自分でもやってみたくてと声があがった。現在は、フリーランスで仕事をさ

れている方で、働きながらの子育ての中で、日本の慣習的な家庭や職場での女性の役割との両立に悩み、子育ての難しさを経験された方。自分と同じような思いをしている、働く女性が子育てについて話せ、週末に集まれる、ほっとカフェをやってみたいとの相談を受けている。次回7月2日（土）に、おはなしほっとカフェを開催予定だが、その方にも運営側として参加いただく予定になっている。おはなしほっとカフェのスケジュールとしては、8月開催分として、の8月17日（水）10：00からの実施分まで決定している。

【委員】参加人数は少ないながらも、細かく密にお話が出来たり、子どもたちだけでなく、大人同士の話も色々と進んでいる。参加者との交流から新しい発展があったりして嬉しく思っている。これからの期待をしている。

・コーナーめぐり、連携（資料なし）

【事務局】菊野台地域福祉センターで、菊野台コーナーと連携しながら、手話タイムちょうふという事業をスタートしている。既に1回目を開催済で、来週2回目の開催予定。1回目開催時の終了後のアンケート結果はすごく満足度が高かった。敷居が低く気軽に手話が勉強できるということで、子育て世代が多いかと想定していたが、実際には高齢者の参加もあり多世代の方が集まった。今後も継続していく予定。コサイトにも掲載しているので、そちらからの参加も広がれば良いと考える。

・居場所探訪（資料③-1 ③-2）

【委員】居場所探訪プロジェクトから、新たに2か所の調査結果報告書を資料として提出している。まず、調査結果#8、子育てカフェaonaに杉山さんを訪ねた。杉山さんは以前に市民活動支援センターの運営委員をされていた方でもある。コロナ以降、営業をしても収益にならないことが課題となったが、今後、収益を生むシステムを構築していくといったお話も出た。子育てカフェという形式を行政が支援するというのは素晴らしいことで、他にはあまりないといった話も聞いているので、今後も注目していきたい。詳細は調査結果の報告書をご覧いただきたい。また訪問先10回目を終えたところで中間報告をしたいと考えている。調査結果#9は青年の居場所キートスの白旗さんを訪問。これまでにも、キートスの存在、代表の白旗さんのお名前やその活動は知っていたつもりだったが、改めて白旗さんのお話をお聞きして、白旗さんの熱意やこれまでの活動経歴を伺って、非常に引っ張る力ある方で、誰がやっているかということは重要だと改めて感じた。今後の課題として、収益があがる事業を始めないといけないとの話があった。キートスで働く方に少しでも謝礼が出せるような新規事業、また後継者の育成も課題として話題にあがった。共通して見えた課題は収益の課題。市民が作る居場所として、収益は大きな壁だと感じた。追って、中間報告時にでも、皆さんのご意見もお聞きしたいと考えてる。

【事務局】中間報告は、8月頃にしたいと考えている。次回報告予定の富士見ラウンジを含めて、10か所の訪問結果を、書面上だけではなく、実際の現場への訪問で感じたことをまとめた中間報告をしたいと考えている。報告のやり方が決まったところで案内をしたい。

【委員】10か所の訪問を終えたが、自身が想定していた場所はカバー出来た。今後の訪問先として、皆さんのお勧めを是非教えていただきたい。もう少し続けたい気持ちがある。知っているところだけでなく、知らない場所にも行ってみたい。

【委員長】8月の中間報告の機会には、皆さんの感じたことやアイデアもお聞きしたい。これまでの報告でなにか質問等はあるか。

【委員】えんがわ文庫の棚主交流会は、棚主以外の参加も可能か。

【事務局】棚主同士の交流を深めるということで、懇談会も含めて、棚主以外の参加はできない。企画したイベントへの参加は可能。

4 ちょうふチャリティーウォークについて

【委員】来週水曜日（6月22日）にキックオフをはばたきで予定している。コロナ禍ではオンラインの開催が続いていたが、今回はコロナ前の開催形式で再開していく予定。ただ、ステージの設置、飲食の提供はなしの方向。滞留を避けるかたちで実施予定。開催日は10月22日（土）で調整中。概要等はこれからになる。今後共有していきたい。

【委員】明治安田生命さんから、地域活動に参加したいとの話をいただいて、チャリティーウォークの案内をしている。6月30日に打ち合わせ予定なので、すり合わせをしたい。

【委員】ありがとうございます。共有します。

【委員長】良いお話。上手く繋がると良い。

5 サマーボランティア企画について

資料4

【事務局】今年度の受入れ団体は22団体、寄付プログラム団体が3団体、合計25団体、トータルの受け入れ人数として87名を予定している。黄色の紙がチラシで、動画も用意をしているのでご覧いただきたい。紹介パンフレットも作成予定。実際の参加希望者はチラシ、動画、これから作成する紹介パンフレットを見て参加検討する。6月27日（月）から申し込み受付を開始。興味を持ちそうな方へお声掛けいただきたい。

6 Mission in Chofuについて

資料5

【事務局】協働推進課との委託契約書にも記載されている事業、地域人材養成講座。この枠を使用し、大学生との繋がりを強化するための、新規事業を予定している。大学生のうちから、調布のまちに愛着を持ってもらい、調布に関わる若者を増やすことを目的としている。昨年度から協働推進課とセンター、市民活動団体のWithgrowとで、企画を練ってきた。市報の6月20日号でまずは募集を開始し、7月24日が申込み期限。8月6日のオリエンテーションから最終は来年2月18日までの長期プログラムになる。学生には実際に地域課題を見つけて取り組んでもらう。その過程をWithgrowと市民活動支援センターとが中心に、様々活動団体にも協力を依頼しながらフォローしていく。同様のコンセプトで既に学生向け企画を実施している町田地域活動サポートオフィスとも連携をしている。随時報告をしたい。初めての企画になるので、皆さんにも協力をいただくことがあるかもしれない。

【委員長】これまでの内容で質問はないか。

【委員】大学生とのことだが、市内在住の学生が対象なのか。

【事務局】在住者が多いと良いと考えているが、興味を持ってくれる学生であれば、居住制限を設けずに受け入れをしたい。

【事務局】広報スタートは6月20日号の市報となるが、市内連携大学には広報協力を依頼済。伺えそうな大学には訪問して直接学生へ広報したいと考えている。

《協議事項》 19:40～20:55

7 えんがわフェスタ企画内容と方法の決定

資料1

- ・前回出たアイデアの整理
- ・企画と方法の検討（グループで当日の流れ、具体的な団体・人まで考える）
- ・全体共有
- ・フェスタ企画詳細の決定

【委員長】今日の協議事項の進行の説明を事務局から説明いただきたい。

【事務局】前回のアイデア出しの検討結果から3つの企画案に整理をした。本日の協議では興味のある企画案ごとに別れて、具体的な実施方法や協力いただく団体など、協議をしてもらいたい。

※挙手にて希望を確認した結果、「外に行くグループ」と「センターで体験・センターで知る、考えるグループ」の2グループに分かれて検討することになった。

■ 「外に行くグループ」

① 「外に行く」のイメージの共有

- ・座学的のものより、動き出したい。
- ・実際に行くことで、『居場所』のリアリティーが伝わる。
- ・現場の空気を吸いに行く（感じる）
- ・センターで『居場所』の雰囲気を作ることは難しいので、行ってみて感じる。
- ・CAPSでも見学者から「見ると違うね」と言われる。
- ・百聞は一見に如かず。
- ・たくさんあるので、行きたいところを選べるとよい。
- ・参加者に対して参加の敷居を下げることになると思う。
- ・参加者に現場で実体験をしてもらうことが良い。
- ・自分が行くことで、場所を知り、相談先としてつながる可能性もある。
- ・運営者が自分のテリトリーで緊張感なく話してもらえる。

② 具体的な見学先のリストアップ（地図に付箋で位置を示す）

（仙川、緑ヶ丘エリア）

- ・仙川 POSTO ・仙川オレンジカフェ ・ほんのもり（緑ヶ丘団地内）
- ・1000+1（センイチ）BOOKS（仙川） ・緑ヶ丘コーナー

（つつじヶ丘、柴崎エリア）

- ・しばさき彩ステーション ・空と大地と ・菊野台コーナー ・キートス

（国領、染地エリア）

- ・市民活動支援センター ・川の図書館 ・染地コーナー

(調布駅近辺エリア)

・ a o n a ・小島町コーナー

(富士見町・西調布エリア)

・FUJIMI LOUNGE ・子ども食堂覚證寺 ・調布学園まんまる

・CAPS ・ふじみ倶楽部ハウス ・富士見コーナー ・西部コーナー

(深大寺エリア)

・ランチ調布 ・野ヶ谷の郷

※他にもあるとは思いますが…

③ 見学コースのイメージ

1, 緑ヶ丘、仙川、つつじヶ丘、柴崎

2, 調布、染地、国領

3, 富士見町、西調布

※各集合地 ⇒午前2カ所⇒昼食⇒午後2カ所⇒市民活動支援センターでまとめ・解散

④ 移動手段

原則として公共交通機関と徒歩、富士見町はシェアサイクルも検討。車で移動は便利だが、止める場所の制限がある。スタッフの運転の場合、万が一の事故などのリスクがある。

⑤ グループの人数と全体の最大人数

全体では、30人くらいが妥当では、

グループの数は、引率に関わるスタッフの人数による。

ただし、1グループ10人(引率者含めると12人)では多い。人数が多すぎて、訪問先の『居場所』の雰囲気を壊すのではないか？

ということを考えると、1グループ5～7名くらいが妥当か。

⑥ 具体的なコースのイメージ

1, 緑ヶ丘、仙川、つつじヶ丘、柴崎

仙川駅集合(バスで緑ヶ丘コーナーへ) 緑ヶ丘コーナー ⇒ ほんのもり ⇒

仙川駅まで徒歩移動 仙川駅周辺で昼食 ⇒ POSTO ⇒ 電車で柴崎へ ⇒

しばさき彩ステーション ⇒ (キートス) ⇒ 市民活動支援センター(まとめ)

2, 調布、染地、国領

多摩川住宅西バス停集合 ⇒ 染地コーナー ⇒ 川の図書館 バスで調布駅へ移動

⇒ a o n a (昼食、見学) ⇒ 国領へ電車移動 ⇒ すこやか ⇒ 市民活動支援センター(見学・まとめ)

3, 富士見町、西調布

調布駅集合（バスで富士見コーナーへ）⇒ ふじみ倶楽部ハウス ⇒
子ども食堂覚證寺 ⇒ FUJIMI LOUNGE（昼食） ⇒ 調布学園まんまる ⇒
徒歩移動 CAPS ⇒ 西調布駅から電車で国領へ ⇒
市民活動支援センター（まとめ）

※訪問先の滞在時間は、おおむね30分、

市民活動支援センターでのまとめもふくめ16:30くらいに終了予定とできれば

■「センターで体験・センターで知る考えるグループ」

【グループメンバーの共通理解】：企画の主たる対象（参加者）は居場所をつくりたい人
（結果的に「居場所をつくりたい人」以外の人にも発見のあるイベントとなる）

【企画A】はばたき内に4～6のブースを作って地域の居場所を模擬的に再現し、居場所をつくりたい
と考えている人に居場所づくりを体験する参加型プログラムを提供する。ブースのほかに「居場所博覧
会」として市内の他の居場所づくり事例のパネル展示もする。

候補：しばさき彩ステーション（案：オレンジカフェや手芸、音楽等の活動の模擬実施）

POSTO（案：工作の活動と制作物の展示）

川の図書館（案：Book Swap@はばたき）

こくりょう子ども食堂わいわい（案：子ども食堂開催の模擬実施）

調布市青少年ステーションCAPS（案：CAPS内の展示の再現）

Kiitos（案：白旗さんのお話と本の紹介）

案1：午前に各ブース定員10人で1時間の体験を2回実施（参加者は2つ体験できる）。

昼食後に3階で参加者同士の体験共有とディスカッション（ワールドカフェ？）。

案2：＜候補の団体に協力依頼した結果、ブースが4つになる場合＞

午前に各ブース定員10人で1時間の体験を2回実施（参加者は2つ体験できる）。

昼食後に3階で居場所づくり実施団体のパネルディスカッション（特に始めた動機と財務等の課
題についてモデレーターが深く掘り下げる）。

案3：＜候補の団体に協力依頼した結果、ブースが6つになる場合＞

各ブース定員10人で1時間の体験を午前2回、午後2回実施。

体験と並行して3階で居場所づくり実施団体のパネルディスカッションを、午前と午後でパネラ
ーを変えて2回おこなう（議論のポイントは上に同じ）。

【企画B】まず居場所づくり実施団体のパネルディスカッションを行い、それを受けて参加者同士の体験共有とディスカッション（ワールドカフェ？）をおこなう。

- ・体験ブースは作らず、昨年の内容を深めるために、特に居場所づくりを始めた動機と財務等の課題についてモデレーターが深く掘り下げる。

■審議結果

本日の小グループでの審議結果を踏まえ、次回えんがわフェスタ企画を確定することになった。

《その他》 20:55～21:20

8 今後の運営委員会スケジュール予定

資料6

【事務局】資料6のセンター行事10月の仮予定として、市民公募での次期委員の検討を追加している。次期の委員の方については運営委員の皆さんからも是非意見をいただきたい。その他大きな変更はない。

【事務局】他にインフォメーション等ある方はないか。

【委員】拡大センター長会議の開催告知（別紙チラシあり）のチラシを配布している。9月27日に各センター長と運営委員を対象とした会議を、今年は板橋のボランティアセンターで行う。今年もハイブリットでの開催となる。平日開催だが是非ご参加を。もう1つ、新型コロナウイルス感染拡大防止下における、避難所での感染対策勉強会（別紙チラシあり）のチラシも配布している。6月21日、18時～オンラインでの開催だが、若干の空きがあるので、ご検討いただきたい。

【委員】ウクライナ人道支援のチャリティーコンサートのチラシを配布している。7月27日の水曜日午後なたづくりのむらさきホールで開催予定。主催のTOKYO シャンソンフェスティバル実行委員会からの相談がきっかけ。調布五中の合唱部、調布狛江合唱団のメンバー数人の参加も決定した。センターも協力をしながら進めている。入場は無料だが、会場でのチャリティーにご協力いただく。事前申込制となっている。お時間があれば、協力いただきたい。

【委員長】20分の延長となったが、皆さん、本日はありがとうございました。

次回運営委員会

令和4年7月20日（水）19時～ @市民活動支援センター「はばたき」